

## ⑥ 福島県県民の森 (大玉村)



### 環 境

県民の森は、安達太良山麓のなだらかな南東斜面に広がる面積約700haの森林公園である。

林相は、アカマツ、スギ、ヒノキといった人工林が主であるが小さな面積で区画され、10年生前後から90年生を越すものまであり、さらに沢筋などの広葉樹林がモザイク状の複雑な森林環境となつて標高550mから1000mまで続いている。

これらのことが、多くの野鳥の生息の場として適しており、年間を通じてどの場所でも野鳥を楽しめる。さらに県民の森には、森林館があり、利用者のためにアドバイスをしてくれる。

### 季 節

早春、一部日陰に雪の残る県民の森では、カタクリやマンサク、ショウジョウバカマの花が咲き、冬鳥のマヒワやベニマシコ、イスカなどが移動してゆき、ミソサザイが大きな声で鳴いている。

4月も下旬になると、ヤブサメやオオルリ、ツツドリといった夏鳥が渡来しはじめ一年中で一番にぎやかな季節へ移ってゆく。

広大な森林の中では、どこでも野鳥を楽しめるが、

森林館を起点とした40分から2時間30分までの4つの散策コースが設けられており、それぞれ野鳥ばかりではなく樹木や草花も楽しむことができる。

その一つの遠藤ヶ滝遊歩道コースは、森林館前の駐車場から車で5分、杉田川沿いにある不動滝駐車場で下車、赤不動から遠藤ヶ滝をまわって元にもどる広葉樹林に囲まれた林間コースであり、途中ブナ林を見ることができる約1時間の道のりである。

5月中旬には、ミソサザイ、キセキレイ、オオルリ、ツツドリ、マミジロ、キビタキ、ヤブサメ、ジュウイチ、アマツバメ、ツバメ、クロツグミ、ノジコその他カラ類、キツツキ類、そしてノスリなどのワシタカ類が見られる。

県民の森では、夏ばかりでなく、冬にも多くの野鳥を見ることができ、カラ類の混群やキツツキ類、マヒワ、ウソ、シメ、シロハラ、ツグミ、アトリ、ミヤマホオジロなどを身近に観察することができる。近年、歩くスキーを利用した冬の観察会が開かれている。

散策前に、まず森林館で県民の森の地図と野鳥情報を得ることをおすすめする。

### 交 通

マイカー利用が便利であり、東北自動車道を仙台方面から二本松インターで下りて、岳温泉方面へ。郡山方面からは、本宮インターで下りて国道4号線を二本松方面へ、ともに案内板を目印に進み約20分で県民の森に着く。

